社会保障Ⅰ　 　 水曜日　3限目13：00～14:30 講義室 3F304

●リアクションペーパー＃５

学科名　　　　　　　　　学年　　　　学生番号　　　　　　　氏名

第５回【社会保障の意義と役割】個人の人生と社会保障・社会保障の社会的役割

に関して、以下の記述のうち、明らかに間違っている記述を選んで（１つとは限らない！）、間違いの箇所に線を引いて、その番号を答えなさい（番号に◯）。

1. 社会保障の伝統的役割には、救貧（きゅうひん）と防貧（ぼうひん）がある。
2. 防貧とは、貧困状態にある人々を救済し、貧困状態から脱出するのに必要な生活費を支給することをいう。具体的には公的扶助（ふじょ）としての生活保護の給付が挙げられる。
3. 救貧とは、貧困状態に陥る前に、貧困化を防止するセーフティネットをいう。これには、社会保険（失業保険、健康保険、年金保険など）や社会手当（無拠出の現金給付、児童手当など）などがある。
4. これからの社会福祉は経済状態（所得水準）とはかかわりなく、福祉ニーズを有する人に必要なサービスを提供する普遍的福祉に向かう。
5. どのような状態を貧困と呼ぶかは時代を越えて変化しない。
6. 社会保障には所得再分配の機能があり、ビルト・イン・スタビライザー（景気変動を自動的に安定化する）としての機能が期待されている。
7. 雇用保険（失業保険）制度における失業者給付は、不況時における有効需要の拡大により景気の回復効果がある。
8. 社会保障は、社会的連帯（みんな仲間、社会の一員という感じ）を強め、社会統合を維持することに役立つ。
9. エスピン-アンデルセンによれば、日本の現状の福祉システムは、自由主義レジーム（アングロサクソン諸国、市場の役割を重視、小さな政府をめざす）と保守主義レジーム（大陸ヨーロッパ、家族・職域の役割を重視、中ぐらいの政府をめざす）双方の主要要素を均等に組み合わせているという。
10. エスピン-アンデルセンによれば、スウェーデンなどの北欧諸国の社会保障は、社会民主義レジーム（国家の役割を重視、大きな政府）という。
11. エスピン-アンデルセンによれば、社会保障の未来は、脱商品化（お金のために働かなくも良くなる）、階層化（格差の縮小）、脱家族化（家族単位から個人単位へ）に向かっているという。
12. 社会保障は社会的連帯と社会の持続性を維持するためのものであり、ホモ・サピエンス（人類）の社会に共通する普遍的な仕組みである（原俊彦）。